

R-18

# 深 淵

しん  
えん

眠れない夜には



んあ

ああん  
ああん

ずるん

ああん  
ああん

ああん

あにさま

あにさま

あにさま

あにさま

もつと  
もつと  
奥までえ.....っ

私を.....



眠れない夜には

しん  
えん

壊して……



ああ……  
んあ……っ

う……  
ひ……ひく



はあ……  
うっ……く



んっ……

ハア

ハア

くちゅ

くちゅ



んく

ひぐ  
んっ



くちゅ  
にゅ

にゅ  
か



痛いんじゃないと……

もっと強くて



だめ……

こんなのじゃ全然消えないのです……

ぬちゅ

くちゅ



兄様……

勝手に涙が出てくる……

今まではこうしていれば

いつの間にか寝れて

いたのに……

あにさまあ



胸の中のどうしようもないモノが

消えてくれなくて



ネコネ?

あにさま



んっ



はあ

はあ

あにさま  
あにさまあ

なぜ  
半裸なのだ!



眠れぬのか...

どうしたのだ  
ネコネ



...っ!



性……  
交渉  
なので……



んっ

ネコネ  
なにをしている



強いのが  
ほしいのです

もう一人では  
どうにもならなくて

もっと  
もっと

心の重圧を  
性的欲求でおさえ  
いたのか……

ネコネ！

やめるのだ！  
それでは自分を  
不幸にするだけだぞ！

私の幸  
不幸など もう  
どうでもいいのです

この苦しさが  
なくなりさえ  
すれば……

いいわけが  
ないだろうが！

しかし  
今のネコネには何を  
言っても止めない  
だろう……





いたい  
痛いけど.....

満たされてるような  
気がする

自分でさわるのと  
全然違う刺激が

あにさまが私を  
引き裂く痛みが

たまらなくて  
なにも考えられなくなる



はぐう……

はあっ

痛みではない感覚が私を一杯にしていく……

あ……

あぁあぁあぁ

寝てしまっ たか……

すまぬ  
今の某には  
こうしてやること  
しかできぬ



心が苦しくなるたびに  
兄様の下を訪ね。。。

私が眠るまで  
何度も何度も  
慰めてくれた。。。



でも兄様が  
達しているところを

一度も見えてない

やっぱり私は  
大バカだ...

ハア

兄様がわたしのために

自分を殺して

ハア

ずっと耐えてきたのに  
気付かないなんて

ズッ  
ズッ  
ズッ

私の身体が

壊れないように

傷つけないように

傷つけたふりをして

兄様が一番

傷ついていた...

はじめに兄様が言っていた  
後悔の意味はこのこと  
だったんだ



ネコネ?

兄様だけ我慢  
させて  
私ばかり...



もうこんなこと  
止めないといけ  
ないのはわかっ  
ているのに



あにさま  
あにさま

ごめんなさい

ごめんなさい  
ごめんなさい



わかった

わたしを  
つかってほしい  
のです



でも  
せめて兄様が  
ちゃんと満足する  
までは

これまでより  
激しくなるぞ

本気でいくぞ  
ネコネ

い  
今までより

うああっ

大きくて

太くなってるの？

はぐっ

ギチ

ギチ

ぎゅ

あ...

兄様

本当に

やさしくしてた

ああ

こんな圧迫感知らない

あぎっ

ハハハ

ちゅ

まだ入ってくる

ハハハ

全部受け止めなさい

あ……あにさま  
もっと もっと

私の全部を使つて  
兄様を解放させるのです

あぐっ

激しくして  
いい……のです  
大丈夫なので……

ぬっ  
ぐちゅっ  
ぎゅっ

お腹の衝撃が

頭まで響いて  
すごいです

あっ

わかった  
速度を  
あげるぞ！

ぽっ  
びんぎ

きやあ

ブホッ





んあっ

はあっ

ズッ  
グッ  
あう  
ズッ

グッ  
グッ

グッ



あ...

お腹の中を突かれるたびに  
頭のなかで何かが光ってはいじる

はあ

あん

一緒に...

もう戻れない

あに...さま  
わたしもう...

ああ  
共に果てよう

ズッ  
グッ  
ズッ

ズッ  
グッ

ズッ  
グッ

わたしの中に兄様の  
精液が打ちつかれてる……

熱くて激しくて  
きもちよくて  
うれしくなつちやう

あああ

ああ

とーん

すごく  
いっぱい出てる……

ハア

兄様  
こんなに我慢してた

ハア

ト  
ロ  
大



謝らないでほしい  
のですよ  
私も同じなのですから

兄様……

すまぬ  
あやまつて済む事  
ではないが……



私の身勝手に兄様の……  
ハクさんの心を傷つけた  
ごめんなさい  
ごめんなさいなのです

もう  
こんなことは  
しないのです……



ネコネ  
某が言えるのは  
自分を許せるのは  
自分だけなのだ

だから  
自分だけを責めるな



あにさま

まあ  
またせつなくなつた  
ときはいつでも  
来るがよい

某の歌でも  
披露してやろう  
ハハハ



でも  
きつとまた  
来るのです……

え!  
ダメか?!



それは……  
最悪なのです……

まだ時間がかかるかも  
しれない

また泣きつく  
かもしれない

それでも

このヒトはわたしを  
やさしく見守ってくれる  
のだろう……

私も見守ろう  
これからも傷つきながらも  
戦う兄様を……

その前に……

……あにさま

さつきから  
ドコさわって  
いるですか！

あ いや  
ネコネがやわらかくて  
心地よくてな……

し 仕方のない  
ヒトですね  
もう1回だけ……  
してやるですよ？



# 奥付

しん  
えん

# 深淵

眠れない夜には

サークル 感味屋真黒  
くろよろず  
jhqhf058@ybb.ne.jp  
発行日 2018年8月12日  
印刷 しまや出版 様



かんみやしんくろ  
感味屋真黒